



Fiery Command WorkStation

© 2019 Electronics For Imaging, Inc. 本書に記載されている情報は、本製品の『法律上の注意』の対象となります。

2019年7月10日

目次

Fiery Command WorkStation の概要	5
Command WorkStation ワークスペース	5
Fiery スマート検索	6
ジョブセンター	6
処理中ジョブと印刷中ジョブの状況	7
Fiery サーバーを追加して接続する	8
アクセスレベル	8
Fiery サーバーへの接続	8
Fiery サーバーを追加して接続する	8
使用可能な Fiery サーバーを検索するには	9
Fiery サーバーからログオフするには	10
別の Fiery サーバーを表示する	10
サーバーリスト	10
Fiery Command WorkStation のカスタマイズ	11
Fiery Command WorkStation に環境設定を設定する	11
ペインの展開/折りたたみ	12
ツールバーをカスタマイズするには	12
ジョブをアーカイブする	14
アーカイブマネージャーでの初回セットアップ	14
アーカイブマネージャーを使用してジョブをアーカイブする	15
アーカイブ済みジョブの概要	15
移行中にアクセスできないフォルダー	16
アーカイブ先を管理する	16
アーカイブを共有する	16
アーカイブ済みジョブの検索	17
アーカイブ済みジョブを使用する	17
アーカイブマネージャーを無効にする	17
アーカイブマネージャーを使用せずにジョブをアーカイブする	18

Fiery Command WorkStation の概要

Fiery Command WorkStation は、Fiery サーバーの印刷ジョブ管理インターフェイスです。

Fiery Command WorkStation では、複数の Fiery サーバーに接続したうえで、1 つの場所でジョブの管理を行うことができます。直観的なインターフェイスにより、オペレーターやシステム管理者は、処理するジョブの数やタイプに関係なく、複雑なタスクを簡単に処理できます。

ジョブセンターは Fiery Command WorkStation の統合機能であり、ジョブの検索とプレビュー、ワークフローの割り当ておよび印刷の管理を行うためのツールが含まれています。

Fiery Command WorkStation のツールを使用して、以下のタスクを実行できます。

- ジョブのインポートとプレビュー
- Fiery サーバーに関する情報の表示
- プリントオプションの指定
- カスタムワークフローの表示と変更
- プリプレスジョブワークフローの管理
- 面付けソフトウェアやメ이크レディアアプリケーションなどの Fiery アプリケーションを使用したジョブの準備とアセンブリ

Fiery サーバーにはオプション機能が豊富に用意されており、Fiery サーバーの取扱説明書では各機能がすべて解説されています。ただし、オプション機能は、接続している Fiery サーバーでサポートされている場合にのみ、Fiery Command WorkStation に表示されます（たとえばサンプル印刷など）。

Command WorkStation ワークスペース

メインウィンドウでは、接続しているすべての Fiery サーバーまたは選択したサーバーで発生しているアクティビティの概要が表示され、各種機能にアクセスできます。

Fiery サーバーを Fiery Command WorkStation に追加する場合は、[Fiery サーバーを追加して接続する](#)（8 ページ）を参照してください。

メモ：表示される内容は Fiery サーバーごとに異なります。概要を以下で説明します。詳細については、ジョブセンターのヘルプメニューから Fiery サーバーの Fiery Command WorkStation ヘルプにアクセスし参照してください。

Fiery Command WorkStation メインウィンドウには以下の領域が含まれます。

- メインメニュー：各種コマンドにアクセスできます。
 - サイドバー：ホーム、ジョブセンター、アプリおよびリソース、Fiery スマート検索の各画面のボタンナビゲーションを表示します（上部の Fiery ロゴの下）。
 - ホーム：接続している Fiery サーバーの状況の概要と、1 週間以内に実行した印刷プロダクションに関する統計情報のスナップショットが表示されます。
 - ジョブセンター：接続されている Fiery サーバーに送信されるジョブの表示および管理に使用します。
 - サーバー：ジョブキューやジョブ状況が一覧表示されます。一部の Fiery サーバーでは、使用可能な用紙や消耗品も表示されます。各 Fiery サーバーの表示を折りたたむと、表示できるサーバーの数が増えます。
 - ジョブ状況：現在処理中のジョブと印刷中のジョブの状況が表示されます。これらのジョブを管理するには、サーバー一覧で**処理中**キューまたは**印刷中**キューをクリックします。
 - ジョブプレビュー：処理済みジョブの内容がサムネイルで表示されます。FS300 Pro 以降の Fiery サーバーでは、スプール済みジョブや処理済みジョブのサムネイルが表示されます。
 - ジョブ概要：ジョブ名またはタイトル、ページ数またはシート数、部数など、選択したジョブの情報が表示されます。スプール時間または処理時間、使用されている用紙、プリフライトまたはジョブの検証結果など、その他の情報が、選択した Fiery サーバー別に表示されます。鉛筆アイコンをクリックすると、一部のジョブプロパティのフィールドを編集できます。
 - ジョブ一覧：ジョブのリストと、実行できるジョブアクションをまとめたツールバーが表示されます。ジョブを右クリックすると、ジョブアクションの完全なリストが表示されます。
 - アプリおよびリソース：インストールされているすべての Fiery アプリケーションに 1 回のクリックでアクセスできるほか、Fiery サーバーについて他のアプリケーションやリソースも表示されます。選択した Fiery サーバーでサポートされている無料のソフトウェアトライアルやダウンロードにもアクセスできます。
- メモ**：使用可能なアプリおよびリソースの一覧を表示するには、インターネット接続が必要です。

Fiery スマート検索

Fiery スマート検索で、情報やトレーニングリソースを検索して、Fiery Command WorkStation や Fiery 機能の詳細を調べることができます。

- 1 ジョブセンターで、Fiery サイドバーの左下にある Fiery スマート検索アイコン（拡大鏡）をクリックします。
Fiery スマート検索は、別のウィンドウがジョブセンター上で開かれていない限り、いつでも左下のサイドバーで使用できます。
- 2 Fiery 情報の検索領域で検索用語を入力し、Enter を押します。
マウスまたはスクロールバーでリストをスクロールできます。
検索ウィンドウには一度に 10 件の結果が表示されます。
- 3 検索結果をクリックします。
情報はデフォルトの Web ブラウザーで開きます。

ジョブセンター

Fiery Command WorkStation のジョブセンターは、接続している Fiery サーバーに送信されるジョブを表示して一元的に管理する場所です。ジョブセンターには印刷中キューと処理中キューのほか、待機ジョブ、印刷済みジョブおよびアーカイブ済みジョブのリストもあります。

ジョブセンターでは、以下の作業を行うことができます。

- すべての Fiery サーバーを横断したジョブの検索、ジョブのプロパティの表示およびジョブのプレビュー。ツールバーからさまざまな機能にアクセスできます。
- ワークフローの割り当てとジョブの管理
- ジョブ一覧のカスタムビューによる効率的なジョブ管理
- すべての Fiery サーバーの状況の表示
- プリンターに関する情報の表示
- ジョブのプレビュー
- ジョブ概要ペインでのプロパティの編集
- デスクトップから Fiery Command WorkStation へのジョブのドラッグアンドドロップ
- 使用している Fiery サーバーの『ヘルプ』へのアクセス

処理中ジョブと印刷中ジョブの状況

ジョブセンターの上部にある処理中ペインと印刷中ペイン（青い長方形）には、それぞれ処理中のジョブと印刷中のジョブの進行状況が表示されます。

Fiery サーバーが HyperRIP モードをサポートしている場合は、さらに詳しい状況を知ることができます。ジョブがページ平行モード（単一ジョブモード）で処理されている場合は、ジョブセンターの処理中ペインに表示される進行状況バーが分割され、使用中のプロセッサごとの進行状況が示されます。ジョブがジョブ平行モード（複数ジョブモード）で処理されている場合は、処理中ペインのジョブ状況カラムがさらに分割され、処理中のジョブごとの進行状況が示されます。

Fiery サーバーを追加して接続する

アクセスレベル

システム管理者、オペレーター、または（システム管理者がアクセス権を付与した）任意のユーザーとしてログインできます。システム管理者は各ユーザーに対し、パスワードを設定できます。

- **システム管理者** - Fiery Command WorkStation および Fiery サーバーの全機能にアクセスできます。システム管理者のパスワードが必要です。
- **オペレーター** - ジョブセンターの全機能にアクセスできます。オペレーターのパスワードが必要です。Configure > ユーザーアカウントで、オペレーターグループに追加の権限を付与することができます。
- **ユーザー名** - システム管理者が **Configure** を使用してユーザーをオペレーターグループまたはシステム管理者グループにすでに追加している場合、ユーザーは独自のユーザー名でログインすることができます。システム管理者は、ユーザーを作成してグループに所属させ、そのグループに権限（ゲストの権限やサーバープリセットの作成権限など）を割り当てます。

アクセスレベルを設定する詳細については、Fiery サーバーの取扱説明書を参照してください。

Fiery サーバーへの接続

Fiery Command WorkStation を使用するには、Fiery サーバーに接続する必要があります。

Fiery Command WorkStation のサーバーリストにより、使用可能なすべての Fiery サーバーへのアクセスを管理します。Fiery サーバーの追加（および接続）、削除、切断を選択できます。

ダイアログボックスにサーバー名または IP アドレスを入力して、Fiery サーバーを検索できます。サーバーを接続して認証した後、IP アドレスをサーバーリストの Fiery サーバー名に切り替えます。Fiery Command WorkStation は、一度に一つ以上の Fiery サーバーに接続できます。

Fiery サーバーへの接続が切断された場合、Fiery Command WorkStation は自動的に再接続を試みます。自動再接続に関する詳細については、[Fiery Command WorkStation に環境設定を設定する](#)（11 ページ）を参照してください。

Fiery サーバーを追加して接続する

Fiery サーバーを追加し、そこに接続したり再接続したりできます。

Fiery サーバーを追加するには、そのサーバー名または IP アドレスが必要です。

サーバー名または IP アドレスがわからない場合は、検索機能を使用してネットワーク上で使用可能な Fiery サーバーを見つけることができます。詳細については、[使用可能な Fiery サーバーを検索するには](#) (9 ページ) を参照してください。

- 1 サーバーリストまたはホームスクリーンでプラス記号 (+) をクリックします。Fiery サーバーの IP アドレスまたはサーバー名を入力し、**追加**をクリックします。
- 2 ユーザーリストからユーザーを選択し、適切なパスワードを入力します。
ユーザーはデフォルトのユーザー名 (システム管理者およびオペレーター) に加えて、独自のユーザー名でもログインできます。ただし、その場合はネットワーク管理者がユーザーをいずれかのグループのメンバーに設定しておく必要があります。
- 3 ログインをクリックします。
- 4 サーバーリストの Fiery サーバーに接続したことがある場合は、その Fiery サーバーを選択し、**接続**をクリックします。

使用可能な Fiery サーバーを検索するには

Fiery サーバーのサーバー名または IP アドレスがわからない場合、ローカルエリアネットワークで Fiery サーバーを検索できます。ローカルコンピューターが含まれているサブネット内か、特定のサブネットまたは IP アドレスの範囲内を検索できます。

- 1 サーバーリストでプラス記号 (+) をクリックします。
- 2 Fiery サーバー追加ダイアログボックスにローカルサブネットの自動検索結果が表示されない場合や、サーバー名または IP アドレスが不明な場合は、**高度な検索**をクリックします。
- 3 次のいずれかの操作を行います。
 - 特定の IP アドレス範囲内の Fiery サーバーを検索するには、**検索**ドロップダウンメニューから **IP 範囲**を選択します。
 - 検索を開始する IP アドレスを**開始**に入力します。オクテットの最初から検索するには、「0」と入力します。たとえば、「10.100.10.0」と入力します。
 - 検索を終了する IP アドレスを**終了**に入力します。オクテットの最後まで検索するには、「255」と入力します。たとえば、「10.100.10.255」と入力します。
 - 特定のサブネット範囲内の Fiery サーバーを検索するには、**検索**ドロップダウンメニューから **サブネット**を選択します。
 - 検索対象に含めるサブネット範囲を示すサブネットアドレスを入力します。どの数値でもかまわないオクテットには、「0」を入力します。たとえば、「10.100.10.0」を入力すると、「10.100.10.1」から「10.100.10.255」の範囲が検索されます。
 - 検索対象から除外するサブネット範囲を示すサブネットマスクを入力します。何も除外しない場合は、「0」を入力します。たとえば、「255.255.255.0」を入力すると、先頭の 3 つのオクテットのサブネットアドレス以外はすべて除外され、4 番目のオクテットでは任意の値が許可されます (10.100.10.30 など)。
- 4 **実行**をクリックします。
検索条件に一致する Fiery サーバーがあれば、表示されます。キーワードでフィルタリングフィールドにキーワードを入力することで、検索結果リストを絞り込むことができます。

- 5 結果リストから Fiery サーバーを選択し、OK の後に追加をクリックして、そのサーバーをサーバーリストに追加します。

Fiery サーバーからログオフするには

Fiery サーバーからログオフすると、Fiery サーバーと Fiery Command WorkStation の間の接続が終了します。

- 1 サーバーリストから Fiery サーバーを選択します。
- 2 Fiery サーバーの名前横にある「詳細」アイコンをクリックし、次のいずれかを選択します。
 - システム管理者としてログインしている場合は、システム管理者"をログアウトをクリックします。
 - オペレーターとしてログインしている場合は、オペレーター"をログアウトをクリックします。

別の Fiery サーバーを表示する

Fiery Command WorkStation では、接続している Fiery サーバーから別のサーバーに表示を切り替えることができます。

- 接続している Fiery サーバーから別のサーバーに表示を切り替えるには、サーバーリストで別の Fiery サーバーをクリックします。

サーバーリスト

サーバーリストには、現在接続中または過去に接続された（現在は接続解除されている）Fiery サーバーに関する情報が表示されます。

サーバーリストは「ドロップゾーン」です。つまり、サーバーリスト内のキューにファイルをドラッグアンドドロップできます。サーバーリストは、接続しているプリンターの情報が Fiery サーバー名のすぐ下に表示されるように設計されています。Fiery サーバー名の左側にあるプラス記号 (+) をクリックすると、個々の Fiery サーバーを展開できます。Fiery Command WorkStation を終了しても、サーバーリストは保持されます。

Fiery Command WorkStation のカスタマイズ

Fiery Command WorkStation に環境設定を設定する

Fiery Command WorkStation 全体に適用される環境設定を指定できます。たとえば、アプリケーションの設定を元のデフォルトにリセットすることもできます。

1 環境設定ウィンドウを開くには：

- Windows コンピューターで、**編集 > 環境設定**をクリックします。
- Mac OS コンピューターで、**Command WorkStation > 環境設定**をクリックします。

2 一般で、以下の一般環境設定を指定します。

- **自動再接続** - 自動的に再接続を選択すると、保存したパスワードを使用して、切断したサーバーに自動的に再接続されます。
- **アップデート** - 今すぐ確認をクリックして **Fiery Software Manager** を開き、最新バージョンの **Fiery Command WorkStation** ソフトウェアと **Fiery ワークフローアプリケーション** をオンラインで入手できるかどうかを確認します。
- **設定リセット** - リセットをクリックして、アプリケーションの設定を元のデフォルトに戻します。
メモ： 追加した **Fiery** サーバーは、パスワードと共にサーバーリストに保持されます。
- **データの消去** - データの消去をクリックして、**Fiery Command WorkStation** でパスワードを保存したすべてのユーザーとサーバーの保存済みパスワードを消去します。
- **アーカイブマネージャー** - アーカイブマネージャーを有効にするか無効にするかを選択します。
- **Fiery ヘルスマニター** - **Fiery** サーバーのヘルス状況をジョブセンターで表示するかどうかを選択します。
- **改善プログラム** - ソフトウェアの品質、信頼性、パフォーマンスの向上に取り組む **EFI** に協力するため、氏名、住所、その他の個人情報を含まない匿名の使用データを送信することに同意する場合は、該当するチェックボックスをクリックします。

3 地域で、以下の地域設定を指定します。

- **言語** - Fiery Command WorkStation を表示する言語を選択します。デフォルトで、Fiery Command WorkStation は、現在の地域のオペレーティングシステム言語を使用します（その言語がサポートされている場合）。言語がサポートされていない場合、Fiery Command WorkStation は英語を使用します。

メモ：Fiery Command WorkStation の言語を変更すると、同じクライアントにインストールされている場合は Fiery Hot Folders の言語も変更されます（逆の場合も同様です）。

- **測定単位** - ページサイズやカスタムサイズなどの属性を表示するための測定単位を指定します。この設定は定義済みのページサイズ値には影響を及ぼしません。

4 エクスポートでは、設定を別の Fiery Command WorkStation クライアントと共有できます。

- **インポート** - インポートをクリックして、他のコンピューターから Fiery Command WorkStation 設定をインポートします。
- **エクスポート** - エクスポートをクリックして、Fiery Command WorkStation 設定を zip ファイルにエクスポートし、他の Fiery Command WorkStation クライアントの設定に使用できます。

5 OK をクリックして設定を保存し、環境設定ウィンドウを閉じます。

ペインの展開/折りたたみ

ジョブプレビュー、ジョブ概要およびサーバーペインの各サーバーは、展開したり折りたたんだりすることができます。

- 次のいずれかを行います。
 - ペインのタイトルバーにある矢印アイコンをクリックして、ウィンドウを展開したり、折りたたんだりします。
 - サーバーリストでサーバーの隣にあるプラス記号またはマイナス記号をクリックします。

ツールバーをカスタマイズするには

ジョブセンターでツールバーをカスタマイズできます。また、デフォルトのツールバーアイコンに戻すこともできます。

一部のツールバーアイコンは、Fiery サーバーでそのツールがサポートされている場合にのみ使用できます。

- 1 ツールバー上で右クリックし、表示されるサブメニューから**カスタマイズ...**を選択します。
標準セットがツールバーアイコンのデフォルトセットです。
- 2 ツールバーのカスタマイズウィンドウでツールを選択した後に、**追加**または**削除**をクリックし、ツールバーアイコンを追加または削除します。
- 3 アイコン名を選択した後に**上**または**下**ボタンをクリックして、ツールバーアイコンの表示順序を指定します。

- 4 標準セットをクリックすると、デフォルトのツールバーアイコンに戻ります。

ジョブをアーカイブする

ジョブをアーカイブすると、ジョブの他に、後で使用できるようにジョブの設定も併せて保存されます。これにより、ジョブを再度インポートして設定しなくても、すぐにジョブを再印刷できます。ジョブを再処理しなくても再度印刷できるように、ラスターイメージを保存することができます。アーカイブジョブは、ネットワークフォルダーやローカルフォルダーなど、使用しているコンピューターからアクセスできる任意のフォルダーに保存できます。また、他のファイルと一緒にバックアップすることができます。

アーカイブマネージャーを使用してジョブをアーカイブする

アーカイブマネージャーでは、アーカイブ済みジョブを Fiery サーバーから、ユーザーが選択したフォルダーに移動します。これにより、Fiery サーバーがアップグレードまたは再ロードされても、ジョブが確実に保護されます。

- すべての Fiery サーバージョブに使用できるシンプルかつ安全なアーカイブソリューション
- Fiery サーバーの外部にあるジョブをアーカイブ
- 複数の Fiery サーバーでアーカイブジョブを容易に共有
- 複数の Fiery Command WorkStation ユーザーでアーカイブを共有
- Fiery サーバーがオフラインでもアーカイブ済みジョブをすばやく検索
- すべてのアーカイブ済みジョブを1つのビューで一覧表示

アーカイブマネージャーでジョブをアーカイブしたら、アーカイブ済みキューは Fiery サーバーの名前の下で一覧表示されなくなります。代わりに、アーカイブ済みジョブはすべて、このアーカイブマネージャーウィンドウで使用できるようになります。

アーカイブマネージャーでの初回セットアップ

- 1 Fiery Command WorkStation の左上隅でアーカイブマネージャーをクリックします。
- 2 **開始**をクリックします。
- 3 **参照**をクリックして、アーカイブマネージャーがアーカイブ済みジョブを保存する場所を選択し、**フォルダー選択**をクリックします。
- 4 その場所のわかりやすい名前を**表示名**フィールドに入力します。
- 5 **OK**をクリックします。
- 6 **移行**をクリックします。

7 アーカイブジョブを移行ウィンドウで、ソースの場所が有効であることを確認します。

詳細は、[移行中にアクセスできないフォルダー](#)（16 ページ）を参照してください。

ウィンドウの上半分に表示される場所は、ソースの場所と、アーカイブ済みジョブが現在保存されているフォルダーです。ウィンドウの下半分で場所を1つだけ選択すると、それがアーカイブマネージャーでのジョブの移動先になります。ジョブを新しい場所に移動することで、ジョブをアーカイブマネージャーで管理したり、保管のために他のファイルやフォルダーと一緒にバックアップしたり、Fiery サーバーが再ロードやアップグレードされても保護することができます。

8 移行をクリックします。

（操作がスキップまたはキャンセルされたために）移行するジョブが Fiery サーバーに残っている場合は、Fiery Command WorkStation にまだアーカイブキューが表示されます。移行処理を再開するには、アーカイブ済みキューの青い移行ボタンをクリックします。

アーカイブマネージャーを使用してジョブをアーカイブする

ジョブの移行は一度だけです。ジョブをアーカイブフォルダーに移動したら、それと同じ場所または別の場所に後続のジョブをアーカイブすることができます。

1 次のいずれかを行います。

- 待機キューまたは印刷済みキューでジョブを選択し、アーカイブマネージャーにドラッグします。
- ジョブセンターでジョブを選択し、**アクション**>**アーカイブ**をクリックします。
- ジョブセンターでジョブを右クリックし、**アーカイブ**をクリックします。

2 アーカイブ先を選択します。

サムネイルとプレビューを保存することもできます（存在する場合）。

メモ：そうすると、アーカイブ済みファイルのサイズは大きくなります。

3 別の場所を指定するには、**場所を編集**をクリックし、**場所の管理**ウィンドウで**追加**をクリックします。ジョブのアーカイブ先フォルダーを選択して**フォルダー選択**をクリックします。

アーカイブ済みジョブの概要

アーカイブ済みジョブには、Fiery サーバーで受信した元のソースファイルのほか、ジョブに設定されたジョブプロパティ（ジョブチケット）も含まれています。

ジョブチケットでは、カラープロファイル、Paper Catalog（または Substrate Catalog）のエントリ、キャリブレーション設定などのサーバーベースリソースを参照していることがあります。これらのサーバーリソースはアーカイブ済みファイルと一緒に保存されてはいませんが、ジョブチケットでそれらを参照します。使用できなくなったリソースをジョブチケットで参照している場合、ジョブではそのリソースのデフォルト設定が使用されます。

アーカイブにはサーバー固有の情報や設定が含まれており、それらは、ジョブの作成時に使用したのと同じサーバーにジョブを復元する場合にのみ、すべて適用されます。別のサーバーにアーカイブジョブを復元またはインポートすることができます。サーバーのモデルが異なる場合、両方のサーバーに共通するジョブチケット設定が保持され、それ以外の設定はサーバーのデフォルト設定で置き換えられます。

ジョブをアーカイブする際は、処理済みジョブのサムネイルやプレビューを保存できます。その場合、ジョブのラスターイメージも保存されるので、ジョブを後で処理する必要がなくなります。サムネイルやプレビューを保存すると、アーカイブ済みファイルのサイズが大きくなります。

移行中にアクセスできないフォルダー

場所が使用できない場合、ジョブはアーカイブマネージャーで移行できません。

- 使用しているコンピューターまたはネットワークで、そのフォルダーが使用可能であることを確認します。フォルダーが名前変更、移動、または削除されたために場所が使用できない場合があります。
- 読み取り/書き込みアクセスができることを確認します。アーカイブマネージャーでは、使用しているコンピューターのオペレーティングシステムを利用して、認証を処理します。Windows エクスプローラーまたは macOS Finder でフォルダーを開いてみます。
- 他のコンピューター上の場所が C:\users\admin\desktop などのよく知られたパスとして一覧表示されることがありますが、それは別のユーザーのコンピューターのパスである可能性があります。これらのジョブにアクセスするには、その他のコンピューターで Fiery Command WorkStation を使用します。

アーカイブ先を管理する

- 1 Fiery Command WorkStation の左上隅で、ジョブペインのアーカイブマネージャーの上にある設定アイコン  をクリックします。

- 2 実行するアクションのアイコンをクリックします。

追加	既存のアーカイブ済みジョブのフォルダーをアーカイブマネージャーに追加するか、今後のアーカイブジョブを保存します。
除去	場所を除去します。
編集	場所ではなくフォルダーの表示名のみ変更できます。フォルダーが移動された場合は、新しいフォルダーとして再度追加します。
デフォルトとして設定	その場所を、ジョブがアーカイブされるデフォルトの場所に設定します。

アーカイブを共有する

アーカイブマネージャーのフォルダーはネットワーク、クラウドレプリケーションサービス、使用しているローカルコンピューターのいずれに存在していてもかまいません。その他のあらゆるファイルやフォルダーに使用する方法と同じように、アーカイブフォルダーをバックアップします。

ネットワークを介してアーカイブを共有する場合は、すべてのユーザーがアクセスできるネットワークフォルダーを使用します。まず、使用しているコンピューターでこのフォルダーを開いて、フォルダーが使用可能であることを確認します。Fiery Command WorkStation を使用するコンピューターごとに、このネットワークフ

フォルダーをアーカイブマネージャーのアーカイブ先として追加します。ネットワーク管理者にアーカイブマネージャーのネットワークフォルダーをバックアップしてもらいます。

アーカイブジョブは、複数の Fiery サーバーで共有できます。たとえば、Fiery サーバー#1 でアーカイブしたジョブを Fiery サーバー#2 で使用することができます。両方のサーバーがモデルもバージョンも同じである場合は、ジョブのすべてのプロパティが保持されます。アーカイブ先の Fiery サーバーのモデルやバージョンが異なる場合は、ラスター画像は破棄され（存在する場合）、印刷前にジョブを再度処理する必要があります。アーカイブ先の Fiery サーバーで使用できないジョブプロパティはすべて使用できなくなります。印刷前にジョブのプロパティを確認してください。

アーカイブ済みジョブの検索

タイトル、ユーザー名、用紙サイズなど、列に表示されるあらゆる情報で、すべてのアーカイブ済みジョブを検索できます。

1 Fiery Command WorkStation の左上隅でアーカイブマネージャーをクリックします。

2 検索ボックスに検索条件を入力します。

最初の 50 件のジョブがアーカイブマネージャーに表示されます。さらにジョブを表示するには、>ボタン および >> ボタンをクリックします。

ジョブの属性をさらに表示するには、列見出しを右クリックし、列を追加します。

アーカイブ済みジョブを使用する

ジョブをアーカイブしたら、まだ Fiery サーバー上に存在するかのように使用できます。

1 Fiery Command WorkStation の左上隅でアーカイブマネージャーをクリックします。

2 ウィンドウの左上隅のすべての場所メニューで、すべての場所または特定の場所を選択します。

最大 50 件のジョブが表示されます。さらにジョブを表示するには、ジョブ一覧の右上隅にある矢印を使用します。

3 ジョブを右クリックし、アーカイブ済みジョブに対して実行するアクションを選択します。

複数の Fiery サーバーに接続している場合は、ジョブの送信先となる Fiery サーバーを選択することもできます。ジョブのプロパティをすべてを保持するには、ジョブをアーカイブしたときに使用したのと同じ Fiery サーバーをソースサーバー列の一覧から選択します。

アーカイブマネージャーを無効にする

- 次のいずれかを行います。
 - a) **編集 > 環境設定 > アーカイブマネージャー**を選択し、**アーカイブマネージャーを使用**の選択を解除します。
 - b) 紹介画面で、**けっこうです**をクリックします。

移行後にアーカイブマネージャーを無効にした場合、移行済みのジョブはアーカイブマネージャーで使用された場所またはフォルダーに残ります。これらのアーカイブ済みジョブを使用するには、**ファイル > アーカイブ済みジョブのインポート**選択し、フォルダーの場所を参照します。

アーカイブマネージャーを使用せずにジョブをアーカイブする

ジョブは、Fiery サーバーのハードディスク内、または外部のリムーバブルメディアやネットワークドライブにアーカイブできます。

アーカイブされたジョブは、**ジョブセンターのアーカイブ済みキュー**に表示されます。

- 1 次のいずれかを行います。
 - 待機キューまたは印刷済みキューでジョブを選択し、**アーカイブ済みキュー**にドラッグします。
メモ: ジョブをコンピューターから**アーカイブ済みキュー**にドラッグすることはできません。Fiery サーバー上にすでにあるジョブに限り、**アーカイブ済みキュー**にドラッグできます。
 - **ジョブセンター**でジョブを選択し、**アクション > アーカイブ**をクリックします。
 - **ジョブセンター**でジョブを右クリックし、**アーカイブ**をクリックします。
- 2 次のいずれかを行います。
 - **ディレクトリリスト**で**デフォルト設定**を選択します。
 - サムネイルとプレビューを保存することもできます（存在する場合）。
メモ: そうすると、アーカイブ済みファイルのサイズは大きくなります。
 - **アーカイブ先とオプション**選択画面を常に表示するように指定できます。
 - 別の場所を指定するには、**追加**をクリックします。ジョブの**アーカイブ先フォルダー**を選択して**フォルダー選択**をクリックします。
- 3 **OK**をクリックして、ジョブをアーカイブします。
- 4 いつでも**サーバーメニュー**から**アーカイブ設定**にアクセスしたり、**サーバーリスト**内のサーバー名の横にある**詳細アイコン**をクリックしたりできます。
アーカイブ先とオプション選択画面を常に表示**チェックボックス**が解除されている場合であっても、**アーカイブ設定**を編集できます。